



## 正月を襲った震度7の能登地震

地震大国の日本では、いつ地震がきてもおかしくないといわれています。そのため、日頃から備えることが大事だと先々月の防災講話でも話されていました。しかし、まさか令和6年の幕開けとともにこんなに大きな地震が起きると誰が思ったでしょうか。地震直後に津波がきて、その後何度も起きる余震。次々に火災も起き、映し出されるニュース映像は壊滅的な被害が出ている能登半島の姿に言葉を失ってしまいました。市役所、町役場、自衛隊、消防、警察の方々の賢明な救助救援活動に頭が下がります。被災された方々は大変な状況ですが、何とか元気を出して頑張ってもらいたいと祈っています。

## 11月30日の防災講話を聞いて

去る11月30日、佐賀地方気象台の方を講師にお迎えして気象と防災について講話が行われました。過去県内に生じた自然災害についてのお話を聞く中で、自らの安全に対する意識が高まりました。自然災害や緊急事態に備えることの重要性を再確認し、日常生活でできる小さな対策から始めることが大切だと感じました。地域との協力や避難計画の確認も必要であり、これらの準備が災害時において命を守る一環となることを学びました。また、防災講話では避難経路や避難所の情報を理解し、家族や近隣の方とのコミュニケーションを強化することが強調されました。災害が発生した際には冷静な判断力が求められることも理解し、予め計画を立てておくことが不可欠です。講話を通じて、防災の意識を持ち、日頃から対策を進めることで、災害に対するリスクを最小限に抑えられると感じました。自分だけでなく、家族や地域全体が協力して備えることが、より安全な社会を築く一環となることを学びました。この講話は、災害に対する個人の責任だけでなく、共同体としての団結が不可欠であることをも教えてくれました。これからは、常日頃から災害が起きた時を想像し、様々な問題への対処法を考え、それを周りの人達に呼びかけ、入念な用意を心掛けたいと強く思いました。



【担当】広報委員 機械科3年 片淵一之介・福田拓哉

## 東北復興支援バザーの収支報告

11月11日(土)の文化祭で「東北震災復興支援バザー」を生徒会とインターアクト部の共同で実施しました。今年度は手数料等で収支は残念ながらマイナスとなりましたが、購入することで東北の方々の支援には繋がっています。収支報告を右上の方にさせていただきました。購入いただいた皆様、ご協力いただき深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 《復興支援バザーに出した商品》

文化祭で復興支援バザーとして取り扱った商品です。

- 希望の環プロジェクト
  - ・愛津ラスクホワイトチョコ 30個中30個販売
  - ・愛津ラスクミルクチョコ 30個中30個販売
- 金比羅丸
  - ・芯付わかめとうま造りセット 50個中50個販売

収入	売上
希望の環 売上	30,000円
金比羅丸 売上	50,000円
合計 ①	80,000円
支出	商品代
希望の環商品代+振込手数料	26,505円
金比羅丸商品代+送料+振込手数料	55,016円
合計	81,521円
収支合計 ①-②	-1,521円

### 「東北震災復興支援バザー」の販売を通しての感想を生徒会とインターアクト部の人に聞いてみました!

- ・インターアクト部の活動を通して、はじめての接客を体験できて良かったです。ラスクも売り切ることができて、接客の楽しさを実感できました。これからはインターアクト部での活動で社会に貢献していきたいです。
- ・ラスクがあつという間に売れて、とても人気だと思いました。その売り上げが東北地方の人の役に立つのは、嬉しいことだと思いました。
- ・販売をしてみて、いい経験ができました。予想以上に売れていてとても人気があると感じ驚きました。また来年もやりたいと思いました。

【担当】広報委員 電気科3年 川内成琉・岸川凜空



次回発行は3月11日を予定しています